

H12

問14 pH測定に関する次の記述のうち、誤っているものを1つ選べ。

- 1 pH計のゼロ校正は、検出部を中性りん酸塩pH標準液に浸して行う。
- 2 pH計の調整において、pH7における調整を純水で行ってはいけない。
- 3 スパン校正は試料のpH値にかかわらず、いずれの標準液を用いて行ってもよい。
- 4 pH計の調整に一度使用した標準液は再度使用しない方がよい。
- 5 ガラス電極は測定終了後、純水で洗浄してから塩化カリウム水溶液中で保存する。

H14

問13 pH測定に関する次の記述のうち、正しいものを一つ選べ。

- 1 フタル酸塩pH標準液は、2種類の試薬を純水に溶解したものである。
- 2 pH計のゼロ校正は、検出部を中性りん酸塩pH標準液に浸して行う。
- 3 スパン校正は試料のpH値にかかわらず、いずれのpH標準液を用いて行ってもよい。
- 4 強酸化剤あるいは強還元剤を含んだ水溶液のpH測定には、ガラス電極を用いることが出来ない。
- 5 ガラス電極は測定終了後、洗浄し乾燥保存しなければならない。

H6

問15 イオン電極を用いる濃度測定において、次の測定対象イオンの組合せのうち、試料溶液のpHを約12に調節して測定しなければならないのはどれか。正しいものを1つ選べ。

- 1 S^{2-} , F^{-}
- 2 CN^{-} , S^{2-}
- 3 Cl^{-} , NH_4^{+}
- 4 NH_4^{+} , F^{-}
- 5 CN^{-} , Cl^{-}